

履修りしゅうのアドバイス

1. 交換留学生が履修りしゅうする授業

名古屋市立大学には、3種類の科目群があります。

Nagoya City University offers three categories of courses.

A 日本語の科目（にほんごの かもく） **Japanese Language Courses**

2026年度日本語プログラムの資料を見てください。

Please see the materials for the 2025 Japanese Language Program.

B 教養科目（きょうよう かもく） **General Education Courses**

日本語の科目以外のいろいろな分野の科目です。ライブキャンパスや、この資料を見て履修したい科目をさがしてください。

【注意】ちゅうい 交換留学生が履修できない科目もあります。シラバスを見て、かくにん 確認してください。

These are courses in various fields other than Japanese language.

Check Live Campus (the university's online course search system) or this guide to find courses you want to take.

[Important] Some courses are not available to exchange students. Please check the syllabus carefully to confirm eligibility.

C 専門科目（せんもん かもく） **Specialized Courses**

人文社会学部・経済学部・芸術工学部の専門的な内容を勉強する科目です。

ライブキャンパスや、この資料を見て履修したい科目をさがしてください。

These are courses in the specialized fields of the Faculty of Humanities and Social Sciences, the Faculty of Economics, and the Faculty of Design and Architecture.

Check Live Campus (the university's online course search system) or this guide to find courses you want to take.

2. ライブキャンパスに入る方法^{ほうほう}

「ライブキャンパス」とは、授業内容を調べたり、レポートを出したりするサイトです。
“Live Campus” is a website where you can check course information and submit assignments.

<https://lcu.nagoya-cu.ac.jp/lcu-web/>



国際交流センターからアカウントとパスワードをもらいます。

You will receive an account and password from the International Exchange Center.

※アカウントとパスワードは忘れずにメモしておきましょう。

アカウント

パスワード

★MEMO★

あなたの担任 / 連絡先

あなたのチューター / 連絡先

3. シラバスを見る方法

シラバス : <https://www.nagoya-cu.ac.jp/education/guide/syllabus/>

The syllabus describes the details of each class, such as the schedule, whether there will be a final exam, a report, etc.



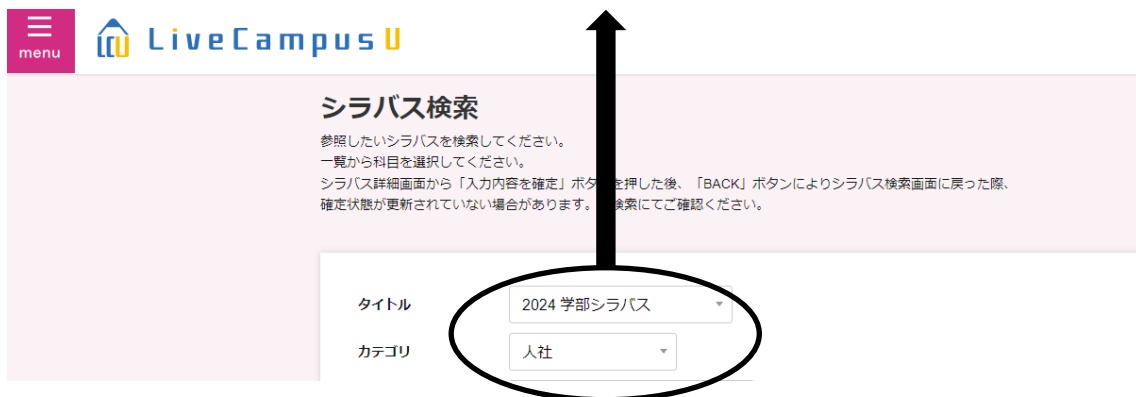
★「授業」→「シラバス」の順番でクリックする

Click “授業” and then “シラバス” in that order.



★タイトル「2026^{がくぶ}学部シラバス」 / カテゴリ「^{じんしや}人社」「^{けいざい}経済」「^{げいこう}芸工」

Title: “2026 Undergraduate Syllabus” / Category: “人社” (Humanities & Social Sciences), “経済” (Economics), “芸工” (Design & Architecture)



★開講学期「前期」あるいは「後期」

Semester offered: “前期” (Spring Semester) or “後期” (Fall Semester)

The image shows a portion of a course registration form. The '開講学期' (Semester offered) dropdown menu is highlighted with a red circle and an arrow pointing upwards. Other fields include 'シラバス情報', '確定状態', '開講時期', '科目コード', '科目名', '科目種別', '曜日', and '時限'. The '曜日' and '時限' sections have radio buttons for '指定なし' (unselected), '月', '火', '水', '木', '金', '土', '日', '時間割外', '集中講義', and '1限' through '7限'.

4. 履修する科目（授業）の数について

前期・後期それぞれの学期のなかで、履修する科目数は6／7科目です。

それより少ない場合、担任の教員から履修指導が入ることもあります。

In each semester (Spring and Fall), you should take 6 or 7 courses.

If you take fewer than that, your academic advisor may give you course registration guidance.

$$\boxed{A \text{ 日本語科目} + B \text{ 教養科目} + C \text{ 専門科目} = 6/7 \text{ 科目}}$$

レポートなのか、試験なのか、評価方法もシラバスでよく確認しましょう。

The final evaluation method differs depending on the course. Check the syllabus carefully to see whether it is a report, an exam, or another method.

■注意事項 (Q&A)

Q. 履修したい科目のシラバスを見て、「難しそうで自分が履修できるかわからない…」と思ったら？

If I look at the syllabus of a course I want to take and think, “It looks difficult, I’m not sure if I can handle it…” what should I do?

A. チューターや担任の先生に相談してみましよう。担当の教員の連絡先がわからないときは、国際交流センターに聞きましょう。

Talk to your tutor or academic advisor. If you don’t know your advisor’s contact information, ask the International Exchange Center.

Q. 履修した科目の第一回目の授業を聞いて、「難しい！」と思ったら？

If I attend the first class of a course I registered for and think, “This is too difficult!”, what should I do?

A. 次の方法で問題を解決^{かいけつ}しましょう。Solve the problem using the following methods.

方法1：授業を担当する先生に、授業が終わってから相談に行ってみましょう。

Go and talk to the instructor after the class.

「先生の授業を履修したいと考えていますが、留学生なので授業についていけるか不安です。どのように予習・復習したらよいでしょうか？アドバイスをいただけないでしょうか？」

方法2：チューターに相談してみましょう。また、授業の内容についてわからないことがあれば、授業担当の先生だけではなく、同じ授業を履修している日本人学生にも助けてもらえます。

Talk to your tutor. If there is something you don't understand about the class content, you can also ask Japanese students who are taking the same class.

方法3：どうしても授業についていけないと思ったら、「履修取消期間^{りしゅうとりけしまかん}」であれば履修を取り消すこともできます。国際交流センターの窓口で手続きをしてください。

If you feel you really cannot keep up with the class, you can drop the course during the “Course Withdrawal Period”. Please complete the procedure at the International Exchange Center counter.

Q. 英語、スペイン語などの他言語^{たげんご}の科目や、日本手話^{にほんしゅわ}の科目を履修したいが、可能^{かのう}か？

I want to take courses in other languages, such as English, Spanish, or Japanese Sign Language. Is that possible?

A. 交換留学生は英語・スペイン語・中国語などの日本語以外の語学科目は履修できません。

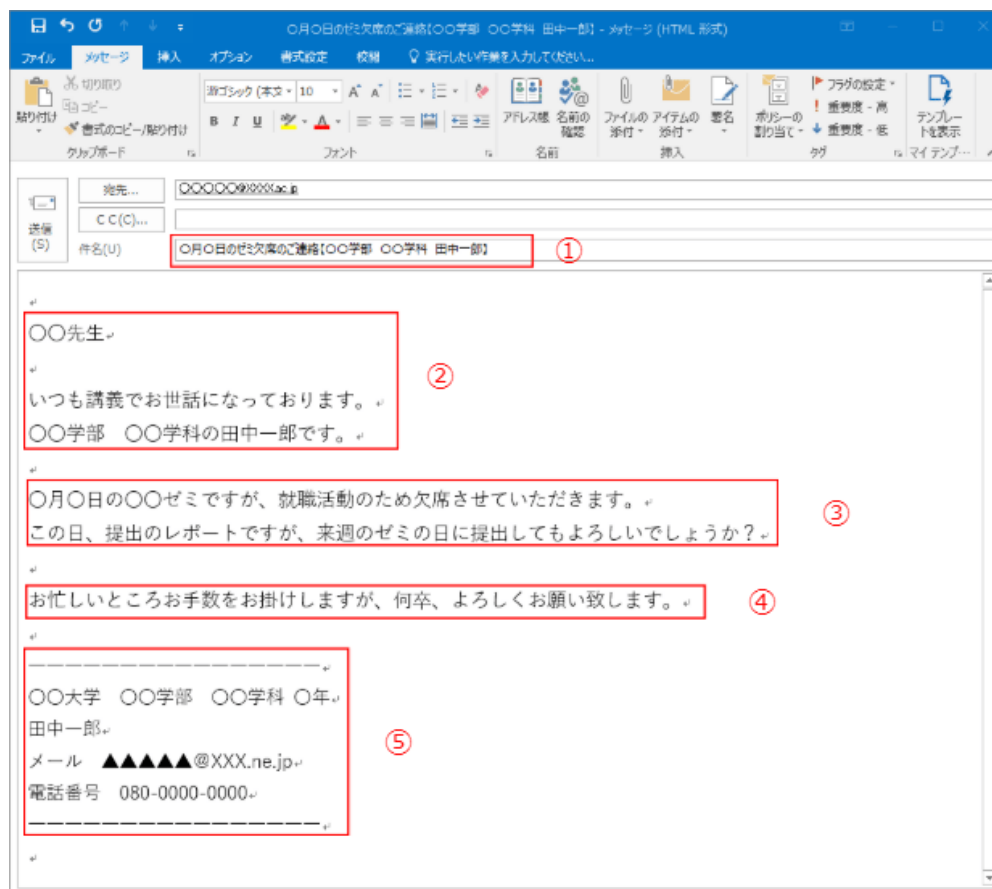
また、日本手話の科目も履修できません。現在、大学の事情^{じじょう}により、1クラスの履修者数が非常に多い状態^{おお じょうたい}ですので、留学生は履修対象^{たいしやう}から外^{はず}しています。ご理解ください。

Exchange students cannot take language courses other than Japanese, such as English, Spanish, or Chinese. They also cannot take Japanese Sign Language courses. At present, due to the university's circumstances, the number of students in each class is extremely high, so international exchange students are excluded from the eligible participants.

Q. 授業を担当する先生に聞きたいことがあって、直接^{ちよくせつ}メールしたいのですが、どのように書いたらよいか？

I have something I want to ask the instructor of my class, and I want to email them directly. How should I write the email?

A. メールの書き方



- ① 「現代日本語論」の履修について（交換留学生：学生番号 氏名）
- ② 〇〇先生
いつも講義でお世話になっております。交換留学生の〇〇です。
- ③ （相談したい内容を書く）
- ④ お忙しいところ申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。
- ⑤ 名古屋市立大学 人文社会学部 交換留学生 学籍番号 氏名

5. 留学生の履修を推奨・歓迎している科目

・科目の担当教員が、留学生が履修することを推奨・歓迎している専門科目・教養科目を紹介します。

We will introduce specialized courses and general education courses whose instructors recommend and welcome enrollment by exchange students.

・これらの科目を履修すると、授業を通して日本人学生と知り合うことができます。また、日本語力を磨く、良い機会にもなりますので、ぜひ履修してみてください。

By taking these courses, you can get to know Japanese students through the classes. It is also a good opportunity to improve your Japanese skills, so we encourage you to register for them.

・もちろん、ほかにもNCUにはたくさんの科目があります。シラバスをよく見て、担当教員、授業担当の教員、チューターさんと相談して、履修する科目を決めてください。

There are many other courses at NCU as well. Check the syllabus carefully and decide which courses to take after consulting with your academic advisor, the course instructor, and your tutor.

・リストを見るときは、開講学期に注意してください。「前期」の科目か、「後期」の科目か、確認しましょう。

When looking at the list, pay attention to the semester offered.

★「日本語」や「日本文学」についての科目

Courses about “Japanese Language” and “Japanese Literature”

■科目名 「日本語・文化セミナー1」（前期・月曜・2限）

担当：椎名渉子

〈担当教員から一言〉

この科目では、日本人学生と留学生とが一緒に受講します。また、周囲の日本人にアンケートをとって、それを集計し、どのようなときにどういう言いかたをするのかということについて、言語間の比較をします。グループワークもします。日本人学生と授業を通して交流しながら日本語の上達を目指しましょう。

■科目名 「現代日本語論」（前期・月曜・4限）

担当：椎名渉子

〈担当教員から一言〉

日本語の文法を、日本語学という学問分野の観点から考える授業です。自国の言語と比較しながら日本語のさまざまなルールについて考えることができます。また、日本語の学びや討論を通して日本人学部生との接点ができる機会にもなります。

■科目名 「日本の文学1」（前期・金曜・2限）

担当：江口啓子

〈担当教員から一言〉 授業の内容は、シラバスを見てください。

■科目名 「言語習得論」（後期・水曜・4限）

担当：椎名渉子

〈担当教員から一言〉

「言語獲得」「言語習得」を取り上げます。子どものことばの獲得と、第二言語としての日本語の習得について学びます。グループワークなどもします。留学生のみなさんの意見もとても重要です！お待ちしております。

■科目名 「日本語・文化セミナー2」（後期・火曜・2限）

担当：江口啓子

〈担当教員から一言〉

この科目では、日本人学生と留学生とが一緒に受講します。日本人学生と授業を通して交流しながら日本語の上達を目指しましょう。

★「保育」や「教育」についての科目

Courses about “Childcare” and “Education”

■科目名 「保育内容演習2（表現）」（前期・火曜・2限）

担当：古賀弘之

※保育士になりたい学生が履修する科目ですが、保育士を目指していない学生も履修できます。

〈担当教員から一言〉

履修人数は少なめです。内容は、受講者によって変わります。

■科目名 「保育内容演習（言葉）」（前期・水曜・1限）

担当：椎名渉子

※保育士になりたい学生が履修する科目ですが、保育士を目指していない学生も履修できます。

〈担当教員から一言〉

日本の絵本・紙芝居について勉強します。絵本の特徴を学び、みんなで絵本を作り、発表します。日本の保育や、絵本・紙芝居といったことばの芸術・文化教材に関心がある人は履修してください。

■科目名 「比較教育学」（前期・水曜・2限）

担当：山田美香

〈担当教員から一言〉

中国・台湾・香港などアジア圏の教育について、留学生が自国との比較をしながら受講できます。

■科目名 「保育内容演習（環境）」（前期・水曜・4限）

担当：曾我幸代

※保育士になりたい学生が履修する科目ですが、保育士を目指していない学生も履修できます。

※授業内容については、シラバスを見てください。

■科目名 「音楽表現1」（前期・金曜・4限）／「音楽表現2」（後期・金曜・3限）

担当：古賀弘之

※保育士になりたい学生が履修する科目ですが、保育士を目指していない学生も履修できます。

〈担当教員から一言〉

内容はシラバスを見てください。音楽表現1はピアノを弾くことがメインです。習ったことがなくても問題ありません。履修人数は多いです。ピアノ課題（簡単なコード進行）があります。学期末試験はパフォーマンス（演奏、歌唱等）です。

■科目名 「現代教育社会学」（後期・火曜・2限）

担当：曾我幸代

※授業内容については、シラバスを見てください。

■科目名 「多文化保育・教育論」（後期・水曜・5限）

担当：曾我幸代

〈担当教員から一言〉

国内外における子どもを取り巻く状況を批判的に読みとり、どのような教育および教育環境をつくれればよいのかを検討する。自国の事例などを取り上げ、日本と比較することで、自国および日本の教育社会を知ることができる。グループワークを毎回取り入れるので、日本語を練習する機会につかってください。

■科目名 「音楽表現2」（後期・金曜・3限）

担当：古賀弘之

〈担当教員から一言〉

履修人数は少なめです。身体表現を含む音楽表現を学びます。

■科目名 「保育内容演習（音楽表現）」（後期・金曜・4限）

担当：古賀弘之

※保育士になりたい学生が履修する科目ですが、保育士を目指していない学生も履修

できます。

〈担当教員から一言〉

内容はシラバスを見てください。クラスの履修人数は多いです。日本のわらべうた（子どもの歌）を学びます。学期末試験はパフォーマンス（演奏、歌唱など）です。

■科目名 「ESD 演習(えんしゅう)」(後期・集中講義)

担当：曾我幸代

〈担当教員から一言〉

授業内容については、シラバスを見てください。SDGs について基本的な理解をしていることを参加条件としています。

★「社会」「心理」「福祉」についての科目

Courses about “Society,” “Psychology,” and “Welfare”

■科目名 「多文化社会論」(前期・火曜・1限)

担当：山本明代

〈担当教員から一言〉

国際的な視点から日本と名古屋の多文化社会の現状と共生への課題について考えます。留学生から見た名古屋の印象や課題について、日本人の受講生にぜひ紹介してください。

■科目名 「発達心理学 1」(前期・金曜・1限)

担当：天谷祐子

〈担当教員から一言〉

子育てに興味のある方には良いと思います。

映像資料も使いますので、文字だけではない授業になります。

■科目名 「社会福祉援助技術総論」(前期&後期・水曜・1限)

担当：樋澤吉彦

〈担当教員から一言〉

この科目は「通年科目」です。前期と後期をつづけて履修することを原則とします。

後期から履修することはできません。

大学院生や社会人など、幅広い世代のかたが履修する科目です。社会福祉についてさまざまな観点から学ぶことができます。授業内容は、シラバスを見てください。

■科目名 「社会学B」(共通教育科目)(後期・金曜・3限)

担当：安藤 究

〈担当教員から一言〉

日本の家族や日本人のライフコースの変化について、配付資料のデータにもとづいて検討し考察する。資料について各自で考えたことや小グループ(名簿で教員が指定)で議論したことにもとづいて、毎回講義時間内で簡単な小レポートを書いてもらう。成績の8割はその小レポートに依り、残り2割は年度末のレポートである。配付する資料は国際比較データもあり、留学生は日本の状況だけでなく、自国の社会についても客観的に考える機会となる。また小グループでの意見交換では、留学生に自国の様子を語ってもらうことで、受講している日本人学生との有意義なコミュニケーションが可能となると思われる。

★「文化」「思想」「歴史」についての科目

Courses about “Culture,” “Thought,” and “History”

■科目名 「日本文化史2」(前期・火曜・3限)

担当：石川 優

〈担当教員から一言〉

この科目では、日本のマンガ文化の歴史について学びます。マンガという身近な素材をつうじて現代日本文化がどのように形づくられてきたのかを考えます。授業は講義形式でおこない、受講生は毎回コメントを提出します。

■科目名 「国際日本学概論・Introduction to Japanese Studies」(前期・木曜・2限)

担当：アンドレア・カスティリオーニ

〈担当教員から一言〉

This course is conducted entirely in English and examines the major turning points in the history of Japanese religions from the sixth century to the present day.

■科目名 「日本の歴史(日本社会史)」(前期・金曜・2限)

担当：川戸 貴史

〈担当教員から一言〉

この科目では、近代より前の日本の歴史について学びます。日本列島がどのような歴史を歩んできたかについて、重要なテーマごとに考えます。すでに日本史を学んできた日本人学生向けの授業ですので、日本史を学んだことがない人は、『もういちど読

みとおす山川新日本史』上（山川出版社）を読んで基礎知識を学びながら授業を聞いてください。

■科目名 「名古屋学1」（前期・金曜・3限）

担当：佐藤美弥 ほか

※いろいろな教員が1・2回ずつ授業をするオムニバス科目です。

〈担当教員から一言〉

この授業は、私だけでなく、様々な分野の教員が、自分の専門分野のアプローチから「名古屋」を捉えるオムニバス科目です。名古屋の観光というところに焦点を当てながら、名古屋の歴史、文化、民俗、ことばといった視点から名古屋を見ていきます。また、本学の教員だけでなく、名古屋市にある博物館や市役所にかかわるかたも講師に招き、名古屋について知ることができます。

■科目名 「Intercultural Studies」（後期・木曜・2限）

担当：アンドレア・カスティリオーニ

〈担当教員から一言〉

This course is conducted entirely in English and examines the combinatory mechanisms between local deities and Buddhist divinities in the premodern period, tracing their development from the Indian subcontinent to Japan.

■科目名 「日本文化論2」（後期・金曜・2限）

担当：石川優

〈担当教員から一言〉

この科目では、マンガ、アニメーション、ゲームなどの日本のポピュラー文化に関する理論と事例を学びます。現代の日本文化について考えてみたい人は、受講してください。授業は講義形式でおこない、受講生は毎回コメントを提出します。

■科目名 「日本文化史1」（後期・金曜・4限）

担当：川戸貴史

〈担当教員から一言〉

この科目では、近代より前の日本文化の歴史について学びます。日本の伝統文化とされるものがどのようにしてできてきたのかについて、東アジアとの交流も重視しながら考えます。

★人文社会学部のゼミナール（ゼミ）★

ゼミは、卒業論文を書くために、主に3・4年生が履修する科目です。人文社会学部の各学科（現代社会学科／心理教育学科／国際文化学科）の教員が、自分の専門分野のゼミの科目を開講しています。そのなかでも、とくに交換留学生の参加を歓迎しているゼミを紹介します。もちろん、ゼミはもっと多くありますので、ほかに参加したい教員のゼミがあれば、相談してください。科目名は「専門演習1／2」（または「発展演習」）です。

ゼミの長所は、少人数の日本人学生と一緒に、より専門的に学べる点です。日本人学生と一緒に調査・研究・フィールドワークをするなかで、日本語力と分野の専門性を向上させることができます。

Seminars (ゼミ) are courses mainly taken by third- and fourth-year students to write their graduation theses. Faculty members in each department of the Faculty of Humanities and Social Sciences (Department of Contemporary Sociology, Department of Psychology and Education, and Department of International and Cultural Studies) offer seminar courses in their own areas of expertise. Among these, we will introduce seminars that especially welcome the participation of exchange students. Of course, there are many more seminars available, so if there is another professor's seminar you would like to join, please consult with them. The course titles are "Specialized Seminar 1/2" or "Advanced Seminar."

The advantage of seminars is that you can study more specialized topics together with a small group of Japanese students. By conducting surveys, research, and fieldwork together with Japanese students, you can improve both your Japanese language skills and your expertise in the field.

■ 江口啓子 ゼミ（日本文学）

- ・シラバス記載の科目名：「発展演習」
- ・ゼミの内容：日本の古典作品をくずし字で読んだり、関連する論文を読んだりします。
- ・開講する学期・曜日・時限：前期・木曜・5限

■ 江口啓子 ゼミ（日本文学）

- ・シラバス記載の科目名：「専門演習1・2」
- ・日本の古典作品をくずし字で読んだり、関連する論文を読んだりします。
- ・開講する学期・曜日・時限：「専門演習1」→前期・木曜・3限
「専門演習2」→後期・木曜・3限

■ ^{よねかわかずお}米川和雄 ゼミ （現代社会学科）

- ・シラバス記載の科目名：「専門演習1」
- ・ゼミの内容：スクールソーシャルワークについて学習する。ソーシャルワークのほか、
^{ふとうこう}不登校、^{ひんこん}いじめ、^{きょういくかだい}貧困など^{きょうみ}教育課題に興味のある方^{かた}を^{かんげい}歓迎します。
- ・開講する学期・曜日・時限：前期・木曜日・3限
〈担当教員から一言〉
^{ふとうこう}不登校の子ども^{しえん}支援にボランティア行きたい方^{かた}も^{かんげい}歓迎します。

■ ^{まつむらさとし}松村智史 ゼミ （現代社会学科）

- ・シラバス記載の科目名：「専門演習1・2」（松村ゼミ）
- ・ゼミの内容：日本の社会保障制度、特に子ども・子育て分野について文献を読
んだり、フィールドワーク（主に名古屋市内）の訪問を通して理解を深める。
- ・開講する学期・曜日・時限：前期&後期・木曜日・3限
※前期のみ、後期のみの参加を希望する場合は相談しましょう。

■ ^{こがひろゆき}古賀弘之 ゼミ （心理教育学科）

- ・シラバス記載の科目名：「専門演習1・2」
- ・ゼミの内容：音楽に関する研究についてディスカッションを行います。
- ・開講する学期・曜日・時限：前期&後期どちらでも・木曜日・3限

■ ^{そがさちよ}曾我幸代 ゼミ （心理教育学科）

- ・シラバス記載の科目名：「専門演習1・2」
- ・ゼミの内容：SDGsをはじめとして^{じぞくかのう}持続可能な社会と教育との関係について^{あつか}扱っています。
- ・開講する学期・曜日・時限：前期&後期どちらでも・木曜日・3限

■ ^{しいなしょうこ}椎名涉子 ゼミ （心理教育学科・国際文化学科）

- ・シラバス記載の科目名：「専門演習1・2」
- ・ゼミの内容：^{にほんごがく}日本語学・^{しゃかいげんごがく}社会言語学・^{ほうげんがく}方言学の知識^{ちしき}をつけて、ゼミのメンバーと一緒に調査・研究をしていながら「ことば」について考えるゼミです。
- ・開講する学期・曜日・時限：前期&後期どちらでも・木曜日・3限
※履修者が多い場合は、^{ちゆうせん}抽選になる場合もあります。

■ ^{やまもとあきよ}山本明代 ゼミ （国際文化学科）

- ・シラバス記載の科目名：「発展演習」
- ・ゼミの内容：国際的な視点から^{たぶんかしやかい}多文化社会について考えるゼミです。この2年生向け

のゼミでは文献購読とミニ調査・発表、地域で多文化社会に関連する活動を行っている機関を訪問します。

・開講する学期・曜日・時限：後期・木曜日・4限

■ 梶浦真由美 ゼミ（国際文化学科）

・シラバス記載の科目名：「発展演習」

・ゼミの内容：第二言語習得に関連するテキスト（日本語）を輪読し、疑問点などを話し合っています。

・開講する学期・曜日・時限：後期・木曜日・5限

6. 一般教養科目（留学生が履修できる科目リスト）

これは、B教養科目のリストです。授業の内容を知りたいときは、ライブキャンパスのシラバスを見てください。また、前期・後期の開講時期に注意してください。

This is a list of B Liberal Arts courses. If you would like to know the details of each course, please check the syllabus on Live Campus. Also, be sure to pay attention to whether the course is offered in the spring semester or the fall semester.

★一般教養科目 現代社会の諸相★

科目名	授業形態	開講学期	単位
日本国憲法	講義	前・後	2
なぜ憲法が必要なのか	講義	前	2
現代社会と法	講義	後	2
人と法と医療	講義	後	2
国民所得はどう決まるか？	講義	前	2
はじめての経営学	講義	後	2
企業診断ABC	講義	後	2
社会科学のデータ分析	講義	後	2
社会学A	講義	後	2
社会学C	講義	後	2
新聞報道の現場から	講義	後	2
国際政治	講義	前	2
比較政治史	講義	後	2
教育の社会学入門	講義	前	2

★一般教養科目 文化と人間性の探求★

科目名	授業形態	開講学期	単位
日本文化の理解	講義	前	2
人類学	講義	前	2
日本語コミュニケーション	講義	後	2
文化に見る歴史	講義	後	2
アメリカ史入門	講義	後	2
心理学	講義	後	2
心理学入門	講義	後	2
共生の哲学	講義	後	2
次世代育成と地域の課題	講義	後	2
日本の宗教の歴史と文化	講義	後	2

★一般教養科目 人間と自然★

科目名	授業形態	開講学期	単位
科学史	講義	後	2
社会と医学	講義	前	2
くすりと社会	講義	後	2
健康と生活	講義	後	2
こころとからだの健康とリハビリ	講義	後	2

★一般教養科目 自然と数理の探求★

科目名	授業形態	開講学期	単位
教養として知っておきたい様々な病気	講義	前・後	2
植物とバイオテクノロジー	講義	前	2
エネルギーのサイエンス	講義	後	2
バイオサイエンス入門	講義	後	2
データサイエンスへの誘い	講義	前・後	2

7. 【参考情報】過去の留学生の履修科目

[経済学部科目]

イノベーション・マネジメント／マーケティング／金融論Ⅱ／国際経済学Ⅰ／国際経済学Ⅱ／世界経済論／都市経済学Ⅱ／入門経済学Ⅰ／入門経済学Ⅱ／マクロ経済学／労働経済学／先物・オプション入門／入門ファイナンス／簿記論

※その他、経済学部において英語で開講されている専門科目

・前期・月曜日・3限：「国際経済関係論Ⅰ」（3・4年生向け授業）

[人文社会学部科目]

グローバル社会と文化変容／アジア文化論／マスコミュニケーション論／英語圏文化論／共生のコミュニケーション／現代教育社会学／集団社会心理学／健康心理学／神経心理学／造形表現2／日本とグローバル社会／ヨーロッパ史／日本の文学1／日本の文学2／日本の歴史（日本社会史）／日本の歴史（日本近代史2）／日本語・文化セミナー1／日本語・文化セミナー2／現代日本語論／日本文化史／日本民俗学1／日本民俗学2／比較文化論2／文化人類学／名古屋学1／名古屋学2（名古屋と観光）／観光学／国際法／国際関係論／社会学概論／教職概論1／自文化理解

[芸術工学部科目]

テキスタイル環境論／テキスタイル環境論演習／画像情報処理／画像情報処理演習／芸術工学概論A／芸術工学実習(D)5

[総合生命理学部]

総合理学概論／細胞生物学